

AI覇権の攻防：OpenAIの起死回生プラン



王座の危機：OpenAIを襲った三重苦

競合のブレイクスルー：
GoogleとAnthropicの新モデルが性能でOpenAIを凌駕し、市場の主導権を奪う。



スケーリング則の破綻：
GPT-5開発が停滞。「計算量を増やせば性能が上がる」という必勝法が通用しなくなる。

社内に「コード・レッド」発令：
CEOが「荒れた雰囲気(Rough Vibes)」と経済的逆風を全社員に警告する事態に。



起死回生の二大戦略

【守り】Project "Shallotpeat"：土壌の再構築
学習データの汚染やバグを修正し、将来のモデル開発に向けた健全な基盤を作り直す。



【攻め】Model "Garlic"：戦術的カウンター
小型・高効率な新モデルを投入し、コーディング性能で競合からシェアを奪還する。



主要AIモデル比較（2025年末時点）

特徴	OpenAI "Garlic" (開発中)	Google Gemini 3	Anthropic Claude Opus 4.5
強み	  コーディング、推論、コスト効率	  Vibe Coding、マルチモーダル	  エージェント操作、長文脈
主要実績	 内部テストで競合をリード	 LM Arena ランキング1位	 SWE-bench Verified 80.9%
リリース	 2026年初頭 (予定)	 2025年11月 (リリース済)	 2025年11月 (リリース済)